

第3回 植水小学校・植水中学校 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月12日(水) 10:00～11:45

2 場 所 植水中学校多目的室

3 参 加 者 略

4 内 容 (1) 小学校長あいさつ
(2) 学校運営協議会長あいさつ
(3) 議事 ①本年度の学校自己評価の結果について(報告)
i) 植水小学校 ii) 植水中学校
②本年度の学校自己評価の結果に対する評価について
i) 植水小学校 ii) 植水中学校
③本年度の学校運営協議会の成果と課題について
④来年度に向けた検討事項
⑤その他
i) 学校運営協議会委員アンケート調査について
ii) コミュニティ・スクール通信について
iii) 来年度の日程について
(4) 意見交換
(5) 中学校長あいさつ
(6) 授業参観

5 議 事 ①質問意見等(○委員より ●学校より)
○小学校の学校自己評価システムシートの達成度について。小学校の評価は少し厳しいような気がする。もう少し評価を上げてよいのではないかと。
○同意見である。主体的に児童は取り組んでいる。
○国語力が大切だと考える。言葉をしっかりと理解し、またしっかりと伝えられるように指導していくことが大切だと感じる。幼児教育とリンクさせて。環境、怪我の教育。
○小学校のHPが毎日更新されていて学校の様子がよく分かる。
○学習支援事業を行っているが、中学生も申し込んで参加している。
○児童のいじめやトラブルについて、小学校から継続しているものはあるのか。学校間でしっかりと引き継いでいるのか。中学校に入学してくる子への準備が中学校でなされているのか。幼稚園からされるとよいのではないかと。
●現在は、小学校から継続しているいじめは報告されていない。小学校の教員と中学校の教員で3学期に連絡会を行い、引継ぎをしっかりと行っている。たしかに、同じ幼稚園、保育園から小学校に進学するので、幼保から少中と連携することは大事である。
○不登校の子への対応も多様化が進んでいるようである。学校に登校すること以外の選択肢、フリースクールなどがあると聞いているが。
●学校としては当然、登校を促すが、様々な選択肢を頭に入れながら、生徒の状態に合わせ

て生徒本人保護者の希望を聴きながら、様々な選択肢を提案している。のちほど、ご紹介するが、中学校には教室と別に sola る一むという部屋を設置し、教室に入れない生徒のための学習スペースを設置して、学校に登校しやすいように工夫している。

○あらためて、国語教育が全ての根幹なのではないかと感じた。母語への関心を高め、違いを知ることが大切である。

○教育とは何なのだろうか。不易と流行がある。精神、情緒面、道徳、協調性といった人間性。教育の本質とは。子ども一人ひとりにあった教育を模索することが大切で、評価のための方策に寄り過ぎないように。教育には測れないものがたくさんある。

○昔、私が勤めていた学校にもいたが、熱心な先生がたくさんいた。熱心に指導に当たっていれば必ず生徒に伝わるのではないか。

○巷でよく聞くが、外国籍のお子さんは多く通っているのか。

●多いとは感じない。

○中学校は高等学校との連携を行っていて素晴らしいと思う。地域性を生かし、それを強みとして小中の連携を更に深めていけると良いのではないか。

●仰るとおり強みだと捉えている。中学生が高校生との活動の中に入ったときに、高校生が先生役をしてくれて、中学生は本当によく話を聴いていた。その体験を、小中学校で行えば、中学生は自己有用感を味わえると考え。ぜひ、幼小中高の連携を推進していければと思う。

○運営協議会の話し合いで意見を出し合い、地域の学校や団体が連携して行う行事や取組が行えると良いのではないか。

○学校間で学校と地域で、連携して、できることはないだろうか。かつて中学生が夏休みに小学校に行って算数を教えていたことがあった。

●この小中合同の運営協議会には、植水地区の学校だけではなく地域に係る団体の代表者が参加している。ぜひ、この場で、植水地区の子どもたちのことを考え、話し合っていきましょう。子どもたちが住んでいる地域のために何かをしよう」という気持ちを育てていくことも大切である。

来年度開催日程案	第1回	植水小・中学校運営協議会	令和7年	6月18日(水)	場所	植水中学校
	第2回	植水小・中学校運営協議会	令和7年	10月15日(水)	場所	植水小学校
	第3回	植水小・中学校運営協議会	令和8年	2月4日(水)	場所	植水中学校